

みのわまち 議会だより

12月 定例会

第71号

2020.2.1



みのわを照らす
令和の初陽
輝けり

萱野高原の初日の出

- ◆ 12月 定例会 P2
- ◆ 委員会審査の概要 P4
- ◆ 町政を問う P5
- ◆ 視察・研修報告 P19
- ◆ サークル紹介 P20

役場議会事務局

電話 79-3111 内線 311

メールアドレス

gikai@town.minowa.lg.jp

議会だよりに関するご意見がございましたらお寄せください。



議会ホームページ
QRコード

「支え合い、健やかに心豊かに暮らせるまち」 の実現

制定

健康づくり推進条例



地域で行われている百歳体操

12月定例会

12月定例会は、12月2日～16日までの15日間の会期で開かれ条例制定3件、条例の一部改正12件、補正予算12件などを原案どおり可決いたしました。

新たに決まった
条例制定

◆健康づくり推進条例

「健康づくり」を「人」と「地域」の両面で捉えてその推進に取り組むことにより、健康寿命の更なる延伸と、生涯にわたって「支え合い、健やかに心豊かに暮らせるまち」を実現させるため。

◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法等の改正に伴い、幼児教育・保育無償化に対応するため、給付対象施設の規定、支給要件、食事提供に要する費用等の受領について改正を行うもの。

◆消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部を改正する条例

成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づく措置として、成年被後見人等であることを理由に不当に差別されないよう、適正化を図ることを講ずること



▲ 出初式に臨む消防団員(1月12日南宮神社)

に併せて、条例の一部を改正するもの。

◆パートタイム会計年度任用職員

の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例

◆フルタイム会計年度任用職員

の給与に関する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い条例の新設を行うもの。

◆特別職の職員で非常勤のもの

の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い条例の改正を行うもの。

一般会計補正予算

◆保育園建設費

木下保育園用地造成工事監理業務委託料・用地造成工事

1億1436万円



▲ 工事はじまる木下保育園現場

◆財産管理費

木ノ下駅公衆便所整備工事増・建設用地補償料増

830万円

◆文化センター管理費

冷温水発生機循環ポンプ等取替修理

99万円

◆中学校管理費

トイレ整備工事設計業務委託料

52万円

◆中学校教育振興費

教育振興消耗品費増・校務用パソコン等リース料増・部活動県大会以上出場補助金増

235万円

◆農産物直売所等改修工事費

にこりこー帯リニューアル詳細設計業務委託料

800万円

◆農作物有害鳥獣駆除対策事業費

クマ放獣作業委託料増

24万円

◆都市公園管理費

支障木伐採等委託料増

162万円

◆道路維持費

凍結防止剤増・町道側溝路肩等修繕増

215万円

◆林業施設災害復旧費

災害復旧測量設計等委託料・林業施設災害復旧工事

1431万円



▲ 災害復旧費の対象となる被災地

請願・陳情の本会議結果

請願・陳情項目	請願・陳情者	議員別賛否											結果				
		小出嶋文雄	寺平秀行	中村政義	荻原省三	中澤千夏志	金澤幸宣	松本五郎	木村英雄	入杉百合子	唐澤敏	釜屋美春		青木俊夫	岡田建二朗	伊藤隆	中澤清明
免税軽油制度の継続を求める請願書	株式会社伊那リゾート 代表 白澤 裕次	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	採択
「箕輪町防災ハザードマップ」の説明会開催と、下古田区有林及び区内民有林の所有者（地権者）境界の明確化と、開示準備についての陳情書	下古田区長 小林 明芳 下古田松茸生産組合 代表 坂牧 美穂子	△	△	△	△	△	△	△	欠	△	△	△	△	△	△	△	趣旨採択*
備考	議長は原則として採決に加わらない。 ○=賛成 △=趣旨採択 ×=反対 欠=欠席																

箕輪町選挙管理委員及び補充員選挙結果

選挙管理委員（4人）

氏名	地区名
北川 昭雄	大出
原 幸喜	松島
井上 彦七	木下
漆戸 正	北小河内

選挙管理委員の補充員（4人）

順序	氏名	地区名
1	日野 六男	木下
2	押野 光	上古田
3	浅野 幸利	三日町
4	尾曾 共春	沢

*「趣旨採択とは」

請願・陳情に対する議会の意思決定は、理論的には「採択」か「不採択」の2種類しかないが、議会としては請願・陳情の願意については十分理解できるが、当分の間は実現することが困難である場合に趣旨には賛成という意味で議決する決定方法のこと。

委員会審査の概要

総務産業常任委員会

★パートタイム任用職員に関する条例制定について

パートタイム対象人員は、来年度予算への影響は。

非常勤職員全てで400人

試算の段階だが、約1200万円増を見込んでいる。近隣市町村とのバランスも取りながら進めている。

労働組合との合意は出来ているか。

合意集約は出来ていると受け止めている。

★公益的法人等への派遣等の条例の一部改定について

派遣職員はいるか。

町社協へ1名、J A上伊那へ1名、計2名がいる。

★一般会計補正予算について

備品購入費減400万円は当初予算幾らに對してか。

1385万3000円に對

福祉文教常任委員会

★箕輪町健康づくり推進条例制定について

今後事業をどのように進めていくのか。

周知啓発のために令和2年3月1日に講演会シンポジウムを開く。地区ごとにローガンをつくっていく。

月々スローガンの作成と

健康増進計画の中で6つの分野を中心に計画を進めていく。健康ポイントも絡めて目標達成できるように方策も考えていきたい。

具体的に浸透させるため、提案として、バッチャやTシヤツなどグッズを作っている。

良い意見だと思う。予算の査定で頑張ってみたい。

令和2年以降、事業をどう組み立て条例に反映させていくのか。

親しみやすい形で、ダイジエスト版を作成、配布。給食レシピ集を作り家庭に届けるなどの方法を考えたい。

★令和元年度箕輪町一般会計補正予算について

台風によるごみステーションの改修は何箇所か。

大出区山口、長岡区十沢橋東、沢区で3件、全部で5件。屋根及び本体転倒による改修。

木下保育園建設説明会での主な意見は。何人くらいの出席があったか。

駐車場出入口を2箇所にしてはどうか・見通しの悪い交差点の問題・信号機設置・通園送迎ルートをどのように設定するか等の意見が出された。参加者は約60人でした。



▲ 木ノ下駅公衆便所の建設予定地

★旧「たべりこ」新指定管理者の指定について

新しい業者への指定管理料はいくらか。

従来は年額1000万円強を支払っていたが、今後は支払いは発生せず月額20万円の賃借料が町収入になる。



▲ 木下保育園建設の説明会
※みのわ新聞社提供

現地確認

総務産業常任委員会

期日 12月12日(木)
場所 ①大出りんご農園
②木下原町の育苗ハウス

出席者 委員全員・7人
議長

内容 台風19号による被害状況の確認



一部損傷したビニールハウス



りんご農家被害視察

福祉文教常任委員会

期日 12月11日(水)
場所 ①木下保育園建設予定地

出席者 委員全員・7人
②箕輪東小学校

内容 ①造成工事の内容の確認
②小学校の和・洋式トイレの現状



東小トイレ



保育園建設予定地

13 議員が一般質問 町政を問う

気軽に傍聴におでかけください

● 議会日誌 ●

10月

- 2日 議会広報特別委員会
- 7日 議員全員協議会
- 8日 議会広報特別委員会
- 10日 議会広報特別委員会
- 11日 議会広報特別委員会
- 15・16日 福祉文教常任委員会
行政視察
- 19日 東京箕輪会
- 21日 伊北議員研修
- 24日 女性活躍井戸端会議との
懇談会
- 25日 議会活動活性化委員会

11月

- 5日 議会運営委員会
- 6・7日 議会広報特別委員会
行政視察
- 11・12日 議会運営委員会
行政視察
- 18・19日 福祉文教常任委員会研修
- 21日 議会運営委員会

12月

- 2~16日 12月定例会
- 26日 議会広報特別委員会

一般質問は、年4回の定例会（6月、9月、12月、3月）で、町政全般にわたり町長及び他の執行機関に対し、自由な質問を議長に通告することとしています。議員一人の質問制限時間は55分。一問一答方式を採用し、質問の順序はくじ引きで決めています。

12月議会では、12月9・10日の2日間に、13人（議長を除く）の議員が質問しました。

令和2年度予算編成の 基本方針は 人口減少対策と防災対策が重要



小出嶋文雄 議員

問 令和2年度予算編成方針の基本的な考え方は。

町長 第5次振興計画の箕輪チャレンジの中で実施できていないもの、公約の5つの基本方針と48の基本政策を中心に編成し、まちづくり懇談会、町長への手紙などの意見も意識し、住民生活に立脚した施策を展開し、住民満足度を高めていく。町の政策を総動員してきた人口減少対策、ひと・もの・しごとと関係人口増加の取り組みと防災対策を町の重要なハードルと考えて編成する。

問 木下保育園建設などの大型事業が始まるが財政状況にどんな影響があるか。

町長 町税、地方交付税などの大きな増加は期待できず、経常経費が財政を圧迫する、やや硬直的な構造になり、将来負担比率も一定程度増加する見込みだが、財政シミュレーションを示し、その上で予算編成していく。地方創生の事業も一度見直しをかけていく。

長く定住して もらうための 対策は

問 移住定住対策の状況と長く箕輪町に住んでもらうため地域との関わりをどう進めていくのか。

町長 U-1ターに焦点を絞って進めてきたが、昨年は

95人、今年の11月までに49人が移住してきており、県外より県内からの移住者が多くなっている。関東、東京圏など県外への知名度アップが課題である。自然の豊かさや生活の利便性、仕事の見つけやすさでは箕輪町は十分対応できると思う。アンケートでは、一番の不安は近所づきあいと地域コミュニティとの関わり方となっている。困りごと、課題などの把握のため現在地域おこし協力隊を中心に「移住者の会」を立ち上げているので、受け入れる地域住民とお互いに理解しあえる関係構築に発展させて地域とのつながり、交流を図ってきたい。

その他の質問

◆ 外国籍住民との共生社会づくり

◆ 地域コミュニティのあり方検討の状況は



▲ 体験住宅を利用している移住希望者の農業体験



伊藤 隆 議員

町内の災害の現状と 今後の対応

春より天候不順や台風で被害大



▲ 台風 19 号による倒木被害のながたマレットゴルフ場

問 町民への伝達方法が屋外の広報や防災無線では周りの雑音で聞こえない。屋内でも聞こえる音声告知放送を進めるべきと思うが。

町長 災害時の伝達方法はなかなか難しい。今回の町の防災行政無線の放送が聞こえないことは私は承知していない。防災行政無線・音声告知・もみじちゃんメール等々を活用していくことが今の現状。

問 大雨の時、一時的に川の水位を下げ水位が下がった時点で再び川へ戻す方法の遊水池を作り、普段は公園として利用する考えはどうか。

町長 防犯対策は幾つかあると思う。施策効果については私も考えたこともなかった提案で、難しいと思うが可能なのか研究させてもらう。

問 食料の確保や、寒い時の暖房、暑い時は冷房が必要になるが、最低限必要な機材は準備しているか。

町長 第一時避難所は各区の公民館で15箇所、小中学校の体育館や保育園は第二次避難所で18箇所あり、緊急時に避難所を確保することは必要。装備品は発電機や投光器・毛布・簡易トイレ・飲料水・アルファ米などは各公民館に準備してある。

子どもをSNS被害から守る方法

問 町内における小学生のスマートフォンでのSNSの使用状況は。また、被害は過去にあったか。

教育長 7割の生徒が使える環境にある。被害についてはLINEへの書き込みによる人間関係のトラブルの事案があり、担任や生徒指導主事により、保護者への個別指導を継続的に進めている。

問 子どもの使用実態を66%の親が知らないといわれている。なんとか被害を防ぐ方法や使用を制限できないものか。

教育長 スマホの問題は基本的には保護者の責任で、親が責任を負う覚悟を持っていただくことが大事。

その他の質問

- ◆ 町内公共工事の入札事業者は
 - ◆ たべりこ・にこりこ
- ◆ 一部の開発とその後
の進展は

介護人材が不足 把握をして対策を 特定人材就労奨励金で支援中



松本五郎 議員

問 全国的に介護職が不足している。町内でも、ある事業所ではヘルパー不足で10件以上の利用者さんを断っている状況にある。町として介護人材の不足状況を認識し、充足状況を把握し、対策をとるべきでは。

町長 ヘルパー不足は認識している。在宅での生活支援をしたと思う。対策は、移住定住施策の中で特定人材就労奨励金を令和元年4月から設けたので、介護事業所等への就労支援をしている。



▲ 社会福祉専門職員の配置が望まれる福祉課

福祉課に専門職員の配置を

問 福祉課は、生活困窮者、障がい者等の弱者が頼りにするところ。介護問題などの福祉に関係することが目まぐるしく変化する部署でもある。複合的な課題を抱えるなかで、専門職の必要性が高まっている。相談に來られた方に十分に対応できる「社会福祉士」などの専門職員の配置が必要では。

町長 正規職員で埋めていくというのは難しい職場でもある。全体の状況を見ながら考えさせていただきます。

問 10月の消費税引き上げに伴い、総合事業の「介護職員等特定処遇改善加算」が同時に実施された。小規模事業所の介護職員が働きやすくなるための加算であり、事業所の介護職員が不利益にならないよう考慮する対策をすべきでは。

町長 可能な範囲で、加算の事業については取り入れた。

生ごみ堆肥化処理施設の建設を

問 現在、生ごみ資源化モデル事業を4箇所の地域で収集した生ごみを木曾の堆肥化施設において堆肥化されて町で販売する仕組みになっており、手間やコストもかかる。長和町の堆肥化施設では焼却処理を1/2のコストに抑えることが可能。当町も生ごみ堆肥化処理施設の建設を。

町長 現在建設する状況にはない。

その他の質問
◆ 再生可能エネルギー利用施設等のガイドラインでは効力がないため、条例化にすべきでは



青木俊夫 議員

“みのちゃんバス”の見直しを

必要であれば交通会議を開催



▲ 公共交通として利用されているみのちゃんバス

問 みのちゃんバスの運行を継続するのか、新たな運行システムに移行するのか、集約が必要な時期では。

町長 公共交通として生活の利便性を向上させたり、高齢者の外出を増加させるという交通弱者に対する支援であるが、現状にも課題があるので交通会議等で検討していく。

問 みのちゃんバスに代わる利便性の良いサービス向上を目指す新たな交通手段として相乗り運行システム等の取り組みを検討したらどうか。

町長 定時路線方式からデマンド型に切り替えていく時期はいずれ来るものと考えている。どこかの段階で切り替える。伊那定住自立圏の中での実証実験の成果も把握し、

状況を見ながら町としても取り組み可否を検討する。

問 多額の運行費用を見直す為にも他に有効な手段を構築し、利用者が分かりやすく、使いやすい今より満足のいく運行システムを住民の皆さんに示すべき時では。一例としてワンコインタクシーを導入したら。利用地域は町内限定で交通弱者は100円/1人。相乗り可能でタクシー業界にも支援する中のご協力いただく。買い物は町内で可能。町の活性化にもつながる。

町長 今のみのちゃんバスとも全く違う利便性の高いものを作るのは難しい。定時路線方式には限界を感じるので、必

要であれば交通会議を開催する方向で研究していく。

地域住民主導の防災マップ作成を

問 ワークショップ形式による地域住民主導の防災マップが大切であるが、その為に行政がフォローできる体制は。更に、まさかの防災マップを作成したらどうか。

町長 福与区で作成した手法は分かりやすい。モデル事業を進める中で、県の専門機関の意見、町の支援も必要になる。

その他の質問

- ◆ 最良の避難行動の周知
- ◆ 避難所運営の在り方
- ◆ 防災訓練の見直し

フェンシング 国体会場誘致は

2会場を候補地に選考し応募する



入杉百合子 議員



▲ 2会場として提案する社会体育館（左）と中学校体育館（右）

問 2027年長野国体フェンシング会場の誘致は。

町長 競技開催の条件である1フロアに8ピ

ストを設定する国体基準を満たす施設が町に無い。同一敷地内の社会体育館と中学校体育館を併せて2会場で開催することが可能か否か中央競技団体の視察をもって最終回答を得る。町としては2会場を候補地として第3次選考に応募したい。

問 町民体育館の耐震改修工事の進捗状況は。

町長 本来であれば今年度設計、来年度耐震工事に着手ということだったが、フェンシング会場の問題もあり慎重に検討してきた。そのため、今年度中の準備は非常に難しい。単なる耐震改修だけではなく、財源の問題を踏まえて、一部改修機能強化も考えていきたい。

健康づくり推進条例の周知は

問 町民への周知方法は。

町長 施行となれば、概要について分かりやすい形でまとめ、ダイジェスト版を全戸に配布する。3月1日に健康づくり推進シンポジウムを開催して、そこでも周知をした。

問 世代に応じた健康づくりの具体的な取り組みは。

町長 一次予防ということを重視して、健康づくりの実践に働きかけをし、小中学校、企業など関係、機関と連携して取り組んでいく。

ゲーム依存の危険への対応は

問 ゲーム依存の危険について小中学校の現状と対応は。

教育長 ゲーム依存により学業や健康に支障をきたしている子どもがいることは事実。病院等との連携に努めていくとともに、企業側に更なる取り組みをPTAと共に要請したい。また先進的取り組みをしている香川県の議会の進捗状況等を見ながら、学校での予防教育の可能性を探っていきたい。

その他の質問

◆ 幼保無償化「3歳の格差」

◆ 文化センター多目的トイレ



中村政義 議員

天竜公園トイレの 全面改修を 基本は来年度実施

問 6月定例会一般質問にあった天竜公園のトイレ全面改修は、その後どうなっているのか。

町長 今年度遊具を設置したこともあり親子連れ等利用者が大きく増加する一方で、トイレは経年劣化による老朽化等で、全面改修または改築が必要だと考えている。

問 天竜公園の身障者用トイレから水が溢れ現在は使用禁止となっている。これから冬季を迎え凍結等も心配だがどう対応するのか。

町長 身障者用トイレは管路部分のつまりが激しくメンテナンス改善では難しい状況。現在は使用禁止となり業者に原因特定の依頼中。基本的に全面改修を考慮する。

新たな部分改修はできるだけしない。

問 町のイベントのみのわ祭り手筒花火やナイトウオーク&ラン等がある。使用頻度も高くなる天竜公園トイレの来期改修を確約して頂きたい。

町長 今の場所で改修するには時間がかかる。こういった方法がいいのか金額も含め議論。確実とはいえないが基本は来年度実施。

学校給食の今後の方向性は

問 北小・中部小学校は業者による給食、その他の小中学校は町職員での自校給食である。コスト面・会計年度任用職

員の条例変更を踏まえたうえで今後の方向性は。

町長 給食の方式、自校給食を当面続けていることもあり各校に栄養士または調理員がいる状況の中、調理の方式を委託でするのか自校でするのかは検討の余地がある。

問 第3次食育推進計画で地産地消の推進を掲げる中、学校給食の県内産農作物の使用量が減少しているが。

町長 学校給食は基本的に米が長野県産米、野菜は原則町内産としたい。



▲ 自校給食の西小学校

その他の質問

◆ 番場原運動場の設備改修は

◆ 松本山雅のホームタウンの今後は

台風災害から 学ぶべきものは

事前予防対応の必要性極めて高い



金澤幸宣 議員

問 台風15・19号災

害の教訓から住民居住域にある巨木・危険木伐採検討をS.C宣言の町として率先して推進すべき。行政介入の方向性は。

町長 原則論は地域

コミュニティで対応していく課題だが、その中だけでは解決出来ない事例が多く、問題の重要性は極めて感じている。

問 ハザードマップ

見直しの必要性可否は。

町長 個々の場所で

検討の余地がある。いずれかの段階で精度を高めていかなければならないと考える。

問 情報の伝達方法

にハード・ソフト両面でもう少し工夫を。

町長 個別受信機の

配布を今後実施していく。スマホに自動配信アプリ

も考えていきたい。

健康づくり推進条例施行に当たり

問 町長自身がチャ

レンジ宣言をし、シンボルとして先頭に立つては。

町長 健康推進課長

と相談して町民アピール方法のひとつとして考える。

まちづくり地区懇談会の総合所見は

問 町長自身の評価・

総合所感は。

町長 課題、問題点、

提案、要望、苦情等非常に意味が有ったと思う。



▲ 松島区のまちづくり地区懇談会

問 若者世代が懇談

会に参加出来る様、具体的な働きかけをすべき。

町長 年代別、或いは

産業系、福祉系等角度を変え検討も必要。最低でも隔年では区単位で実施したい。

防犯カメラ設置の進捗状況は

問 抑止効果看板含

め11月の天竜公園以外防犯カメラの進捗状況は。

総務課長 松島駅待

合室、役場南側駐車場、交流センター等に設置。

問 設置後の管理状

況は。

町長 一定の抑止力

が確保出来るよう適切に管理する。

当町の時報はなぜ遅れているか

問 質問通告翌日に

は直ったが、怠慢では。

総務課長 今後、電

波状況含めメーカーと相談しきちんと管理する。

その他の質問

◆ 役場・保育園周辺の段差解消を



▲ 新設された天竜公園の防犯カメラ



唐澤 敏 議員

農・食・健康の 連繋強化を

都農交流や産学官連携を推進する

問 箕輪町農業の課題についての見解は。

町長 担い手の確保が進まないことや労働力が不足していることが、最大の懸念事項である。

加えて、農地の集約・集積等があげられる。

問 農業応援団計画の取り組み状況と支援については。

町長 農業生産者への支援とともに、農ある暮らしを楽しむなどの施策を通して、町民の農業支援への考え方は浸透してきた。援農については、働き手の希望と農家の需要へのマッチングを考えていきたい。

問 家族農業への政策的支援は。

町長 今までの農業政策としては対象になっていない部分ではあったが、家族農業を再発見する必要がある。国の政策に注目していきたい。

問 農業のスマート化への対応は。

町長 生産の効率化や新しい農業の担い手づくりのポイントになる。みのわ宮農等での試行を検討したい。

問 にこりこり一帯のリニューアルにおけるコンセプトの実現は。

町長 地域のことで、ひと・もの・情報が動き出す交流スペースなど、新たな施設も含めて検討したい。

問 「一人・農地プラン」の推進は。

町長 農地の集約を加速するため、プランの実質化について、今年度内の公表に向けて取り組んでいる。

「地域の健康づくり」に注力

問 地域全体を元気にする地域ぐるみで取り組む健康づくりの推進は。

町長 健康づくり推進条例での新しい要素を予算のなかで検討する。健康増進計画のエンジンとして、健康づくり推進協議会を機能させる。

問 「農・食・健康」のリンクージ（連繋）強化についての施策は。

町長 農業振興に向け、都市との関係や産学官のうち「学」との関係づくりは町の弱い部分でもあり、研究課題として進めていきたい。

その他の質問

- ◆「食料・農業・農村基本計画」見直しの所見は
- ◆振興計画「健康寿命延伸チャレンジ」の取り組みは
- ◆認知症事故の救済制度は



▲ リニューアルされる「にこりこり一帯」

台風災害を受け 取り組むべき課題



釜屋美春 議員

河川・堤防整備等を国や県に要望

問 ①今後も激甚化した災害が考えられる。町が取り組むべき課題は何か。②自分の命は自分で守るという住民の防災意識を高めるために、住民が避難行動を計画するマイ・タイムライン作成の啓発をすべき。③避難所運営マニュアルに福祉避難室を位置付け、専門職の配置等で充実を。

町長 ①県内被害の検証ができていない段階だが、河川整備や堤防の構造など国や県への要望は必要。土砂災害や避難所運営、被災ごみの処理、ボランティアの確保なども検討すべき点である。②自宅だけでなく勤務先からの避難なども含め周知を進める。③福祉避難室を位置付け要援護者の対応は町と区の連携で行う。

学校トイレの洋式化の具体策は

問 小・中学校のトイレの洋式化を進めるにあたり、設置率はどれくらいか、多目的トイレや暖房便座は考えているか。

教育長 和式も残しながら6割を洋式化する。避難所に対応できるように多目的トイレは未設置の2つの小学校に設置。暖房便座も整備の予定。

合葬式墓地建設の進捗は

問 町長への手紙に合葬式墓地の建設を求めた声があったが進捗は。

町長 町の内外からの声もあり、昨年からの研究を進めている。現在県内12の市で建設管理をしているが、町村ではまだない。当町としての規模、料金設定、運営方法、場所の選定など来年度から検討を始めたい。

妊産婦医療費助成制度の創設を

問 県保険医協会が、近年高年妊娠が増え、合併症などのリスクも増加していることから妊産婦医療費助成制度の創設を提案している。当町も子育て支援策として実施を。

町長 健診の補助、産後の支援がある中、現段階ではやや消極。



▲ 伊那市営の合葬式墓地「仙望の丘」

その他の質問

- ◆ 外国人居住者の災害時避難
- ◆ 153号バイパス4車線化と周辺道路整備
- ◆ SDGs 新年度の取り組み
- ◆ 子どもとSNS



荻原省三 議員

台風19号による 農家支援の充実を

樹木、施設等も支援を考えていく



▲ 台風被害にあったリンゴ園

問 台風19号による農作物、農業施設の被害に対する支援、特に果樹農家に対する支援を考えてほしい。

町長 J Aの調査によると、特別被害農業者が25戸あり総収入の50%以上の減収となっている

ため今回の農産物の被害は全て共済金が支払われる。農家の掛け金の2割は町が直接補助している。樹木、施設等にも補助を考えている。

副町長 今回は非常に大きな被害であり落果ばかりでなく擦れ果等での収入減であり、収入保

険制度への加入促進などを含め国の制度等を使いながら支援していく。

キッチンたべりこの新指定管理者は

問 にこりこキッチンたべりこの新指定管理者への支援は。

町長 施設そのものに対する支援はない。今回の指定管理料は0円だが、それ以外に賑わいを創出するための側面的支援は当然必要。直売所、加工所、レストランを全体として運営していくかは町の責任である。

保育士、学童指導員の待遇改善を

問 新たに会計年度任用職員制度を設けるが、自治体の正規職員と臨時非常勤職員等の待遇改善につながるのか。

町長 保育園の正規職員は55人程度に比べ、非常勤職員は140人くらい。非常勤職員の方で保育園が運営されている。未満児や長時間保育が増え保育士が必要。3歳未満児の担任などへの対応は今まで通りで良いかは自身疑問である。パートタイムを会計年度任用職員にして良いか非常に議論をした。待遇のところ

で年収と月収の問題がある。年収で会計年度任用職員は113%になる。そのために月収を下げた経緯がある。

その他の質問

- ◆ 2027年国体フェンシング会場
- ◆ 免許返納者、買い物弱者対策

他

生活相談の窓口に 専門職の配置を 専門職の必要性を感じていない



岡田建二郎 議員

問

① 先般、箕輪町

に居住する外国人世帯で、一家心中が疑われる事件が発生した。報道では家賃滞納があり、生活困窮状態だった可能性がある。住民税や国保料、上下水道料の滞納等、町税の滞納はなかったか。

② 滋賀県野州市では、不動産業者と協定を結び、家賃滞納が続いた際には市の窓口へ繋ぐ仕組みがある。箕輪町でも取り入れてはどうか。

③ 役場の生活相談窓口は専門職である「社会福祉士」が業務として携わっていない。貧困世帯は深刻になるほど「助けて」と言えない。小さなSOに気付き、早急に適切な対応を講じるためにも社会福祉係に専門職を配置すべき。

町長

① 事件

のあった家庭については現在捜査中であり答弁できない。

② 検討に値すると思うが、行政がどこまでできるか難しいと感じる。

③ 生活相談窓口は専門職を配置する必要性を感じていない。

台風19号被害から学ぶ教訓

問

① 台風通

過直後、西部地区の一部自治会に「被害なし」と判断した経緯について、発災時の町の状況把握体制に課題があるのでは。

② 西部地区の山林でも多くの倒木被



▲ 富田財産区では作業道沿いだけで120本を超える倒木が発生



▲ 下古田財産区でも無数の倒木で作業道が寸断

害が発生している。早急に対応しなければ森林保険の適用も受けられないし、土砂災害の発生源ともなる。財産区有林は町の財産でもあるので実態の把握と復旧を急ぐべき。

町長

① 町と区との情報連携は足りていない部分があるので検証する。

② 財産区有林の倒木被害は把握できていない。実態把握に努める。

空き家対策を事後策から予防型へ

問 高齢者のみの世帯に対して、住人が健在なうちに不動産の意向確認や、相続人の明確化を図る等、空き家になる前の予防策を講じるべき。

町長 予防策の必要性は感じている。行政として何ができるか検討する。

その他の質問

◆ 中学校での「学生服リユース制度」の事業化について



寺平秀行 議員

学力向上へ 具体的取り組みは スーパーティーチャーの導入



▲ スーパーティーチャー導入目指す箕輪中

問 SDGs（持続可能な開発目標）に関連して「学力」とは何か。

教育長 生活と学習が結びつくこと、友達と学び合うことで見方・考え方を広げていくこと、さらに自分から課題を持って学び続けることで生きる力をつけていくことを「学び」と考える。

町長 自己肯定感を持って人生を生き抜く力、テストの力。この2点を組み合わせたと考える。

問 具体的取り組みは。

教育長 算数の力を伸ばすスーパーティーチャーの導入を考えている。県から加配を1名もらい小中両方の授業を持つ。

中学校の授業を見ながら全小学校の高学年の授業も持つ。担任と一緒に授業づくりをしながら学力向上を図る。来年度4月より行いたい。

外国籍住民死傷事件の再発防止は

問 現状把握、定期的に行政が外国籍住民にアクセスするなど具体的な取り組みは。

町長 外国人相談員の勤務時間を「8時半〜17時まで」に延長した。翻訳できる機械の導入、今年中には生活相談会を開催したい。防災を中心に言語対応できていない行政手続きについて対応を検討中。事件を受けた今後の対応は少し時間をいただきたい。

消費者相談を広域化できないか

問 消費者相談は町で受け付けているが、より専門的な消費者相談センターが設置されていない。広域連携でカバーできないか。

町長 飯田消費生活センターが県の消費生活センターで、その管轄下に箕輪町がある。広域連携は令和3年4月からの予定で上伊那北部（箕輪・辰野・南箕輪・伊那）については伊那市の消費者生活センターで対応できるように調整している。

その他の質問

◆長谷小・中学校で導入されている「姿勢の時間」「心身健康椅子」を試験導入できないか

◆エシカル消費（道徳的消費）の認知度100%達成に向け講演会を企画できないか

◆SDGsの推進について官民連携プラットフォームへの加盟は

子どもたちに「防災学」を 総合的な学習テーマに検討する



中澤千夏志 議員

問 異常気象は海水温の上昇説が一般的だが、ドイツの森林管理官Pレーベン氏の説を聞けば内陸側に集中豪雨の危機が迫っている事が理解できるはず。「雨雲が内陸に雨を引き寄せる条件は海岸線から陸地続きに森林が存在している事」と。森林は今後も年々成熟していく。台風19号以上の雨量を想定する事が求められるのでは。津波災害を経験した岩手県大槌町は18歳以下の子ども達が成長と共に防災知識を学べる事を定めた「子どもの学び基本条例」を令和元年4月に施行。町は「防災学」を位置づけるべき時流では。

教育長 総合的な学習のテーマに防災教育を据えていく事はタイムリー。

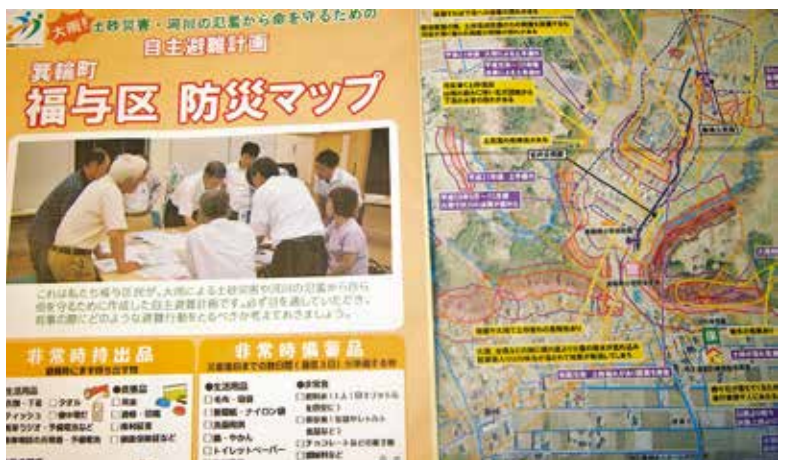
地域の特性を知り季節に合わせた学習活動に取り組む事を考えたい。
提案頂いた「自然科学・社会科学・行動変革の仕掛け」は非常に重要な3視点と思う。今後は災害メカニズムの理解、場面に応じた判断、行動技能、命の尊重など総括し総合型教育が必要になってくる。

南小と三日町保育園の危険性除去を

問 「福与地区防災マップ」には過去の被災や土砂崩落を予知する情報が満載。南小と三日町保育園は沢筋の真下であり、子どもたちの生命を脅かす事が推察される。危険性除去を。

教育長 将来にわたって児童園児の安全を確保する事が教育の務め。具体的方法は関係部に要請したい。

町長 小学校の北側は急傾斜地と危険区域であり工事した経過が。一城山側と保育園東側は安定土壌」が過去の評価だが「三日町防災マップ」を作る場合も話題になる事を想定すれば、安全な場所とは思われないので確認し対応しなければならぬ。



▲過去の履歴から土石流発生の予兆を示す福与地区ハザードマップ

その他の質問

- ◆天竜川の越水と支流への逆流対策を
- ◆町の建設業者の育成と保持策を
- ◆私有林区有林再生へのトップビジョンを
- ◆県はONE NAGANO 町は継続支援体制を

視 察 ・ 研 修 報 告

福祉文教常任委員会 行政視察

期日 10月15日(火)
から16日(水)

場所 ①岡山県鏡野町
②島根県邑南町

出席者 小出嶋文雄
中村 政義
釜屋 美春
唐澤 敏
入杉百合子
松本 五郎
寺平 秀行
中澤 清明

内容
①「鏡野町健康づくり条例」
について
②「日本一の子育て村構想」
について



議会運営委員会 行政視察

期日 11月11日(月)
から12日(火)

場所 ①松本市議会
②福島県会津若松市議会

出席者 寺平 秀行
岡田建二郎
伊藤 隆
荻原 省三
小出嶋文雄
中澤 清明

内容
①議会改革について
②議会基本条例の活用及び
自由討議のノウハウにつ
いて

議会広報特別委員会 視察研修

期日 11月6日(水)
から7日(木)

場所 宮城県川崎町議会

出席者 松本 五郎
金澤 幸宣
中澤千夏志
中村 政義

内容

町村議会広報で優秀賞を受賞した川崎町の広報・広報活動や議会だより制作の要点をお聞きした。



伊北議員研修会

期日 10月21日(月)

場所 南箕輪村
大芝研修センター

出席者 議員全員

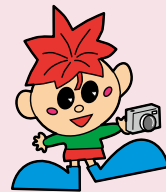
内容

演目 都会から田舎に
村で生きる挑戦

講師 元地域おこし協力隊員
楠 好延さん
内山 祐輔さん



サークル紹介



“がんばる元気な子どもたち”

シリーズ No.18

箕輪町公民館剣道部



★いつ頃から活動していますか？

昭和45年(1970年)発足です。当時の指導者である警察署小島敬氏によって始められました。

★メンバーは何人ですか？

一般11名、小学生2名です。発足当時小学生は50名余いました。現在は少子化と運動が敬遠されるのか、大変減少しています。

★いつ、どこで活動していますか？

毎週土曜日午後5時～7時半です。箕輪町武道館1階です。

★楽しいことはなんですか？

特に武道関係競技は一朝一夕では上達しませんので、正直楽しいことはありません。が、小学生が

基本的な作法や武道特有の動きが身についてきたと感じるとき、充実感を覚えます。

★最近の戦績は？

未だ初心者ですので、試合は未経験です。

★今後の目標は？

小学生は、級審査の受審に挑戦してもらうこと、また一般の方は現状の一つ上の段位を取得することです。

★議会に一言？

運動部の活動について町に支援して頂いていることに、大変感謝しています。

現在の体育館武道館は昔に建設された為か使い勝手が悪いです。新築するのであればこの点も考慮してください。

楽しいサークル、ユニークなグループを議会事務局までご連絡ください。

議員の公約

ホームページに議員の公約掲載

町のホームページを開き「町議会」を選択し、「議員の公約」を選択する

と閲覧できます。



議員の公約 QRコード

中学生模擬議会

日時 令和2年2月19日(水)

午後3時30分開会(予定)

町の未来を担う中学生の模擬議会におでかけください。

場所 役場3階 議場

議会だより70号において多数文章の誤りがございました。この場にてお詫びいたします。

議会広報特別委員会

委員長	松本五郎
副委員長	釜屋美春
委員	金澤幸宣
委員	中澤千夏志
委員	中村政義